

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
大垣駅周辺地区

平成30年3月

岐阜県大垣市

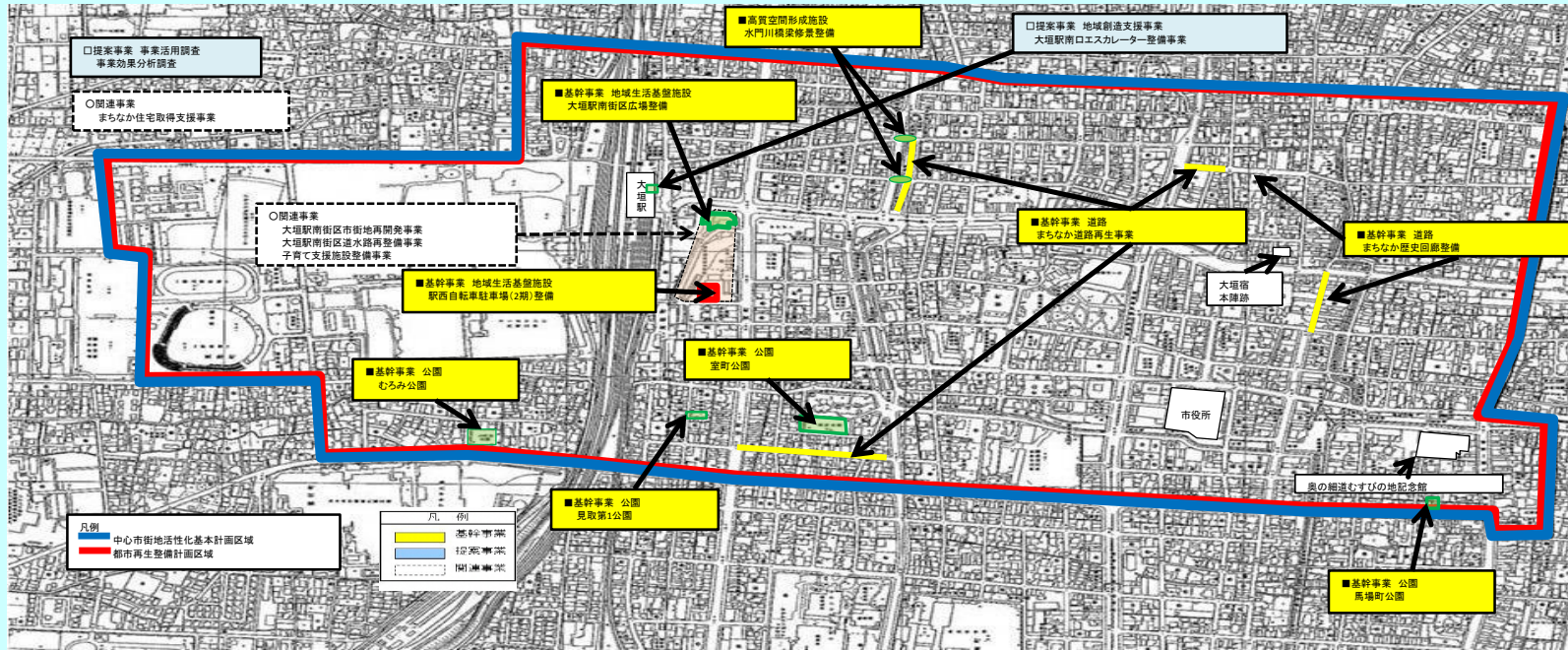
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	大垣市		地区名	大垣駅周辺地区			面積	168ha		
交付期間	平成26年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	750百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(まちなか歴史回廊整備、まちなか道路再生事業)、公園(見取第1公園、むろみ公園、馬場町公園、室町公園)、地域生活基盤施設(大垣駅南街区広場整備(※計画策定時は、事業名の前に「(仮称)」有り)、駅西自転車駐車場(2期)整備)、高質空間形成施設(水門川橋梁修景整備)									
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	-		-		-					
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-		-					
			提案事業	大垣駅南口エスカレーター整備事業		基幹事業の駅西自転車駐車場(2期)整備と相まって、来訪者の増加を促進することで、計画の目標達成に資するため。		指標への影響が懸念されるが、指標への影響を推計する根拠データが不足しているため、目標値は据え置く。					
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	平成26年度～平成29年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	駅周辺利便性満足度	%	18	H25	40	H29	モニタリング	評価値	○	あり	まちなかの道路や自転車駐車場、大垣駅南口エスカレーターの整備により、駅周辺の安全で快適な利用環境が形成され、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。	-
	指標2	歩行者及び自転車通行量	人/日	9,747	H25	9,880	H29	-	10,250	○	あり	まちなか歴史回廊整備による風情ある都市景観の形成や自転車駐車場の整備等の実施により、来訪者が増加し、休日の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。	-
	指標3	地区内公園の利便性満足度	%	24	H25	40	H29	-	46	○	あり	広場整備や遊戯施設の更新など、利用者のニーズや景観に配慮した計画的な整備の実施により、利用者が安らぎ・楽しめる空間が形成され、利用者の満足度の向上につながった。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4)定性的な効果発現状況	「以前より綺麗になった」、「色々なイベントをやっていて賑わっていると思う」という市民の声が寄せられた。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-			
	住民参加プロセス	市民参画によるワークショップ等の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 引き続き、市民意向を確認しながら、計画的なまちづくりを推進していく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに対する市民アンケートの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 引き続き、アンケート等の手法により、市民の意見を聴取し、市民ニーズに対応した事業展開を図る。			

## 様式2-2 地区の概要

大垣駅周辺地区(岐阜県大垣市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出 目標1:賑わいと活力ある中心地の再生 目標2:中心地の交流と憩いの場づくり 目標3:歴史的資源を活用した観光まちづくり	駅周辺利便性満足度	単位: %	18	H25	40	H29	42	H29
	歩行者及び自転車通行量	単位: 人/日	9,747	H25	9,880	H29	10,250	H29
	地区内公園の利便性満足度	単位: %	24	H25	40	H29	46	H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの道路や自転車駐車場の整備などにより、駅周辺の利便性や地区の回遊性が向上し、中心市街地の拠点性の低下が抑制された。</li> <li>・公園や水門川修景整備などにより、中心地における交流と憩いの場が創出された。</li> <li>・駅周辺の利便性の向上に加え、歴史的・文化的な地域資源と一体となった整備を実施することで、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者が増加した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地の賑わい</li> <li>・歴史的景観等との調和を図りながら、中心市街地内の整備を引き続き推進し、地区内の回遊性や魅力の更なる向上を図るとともに、商店街の空き店舗に出店する事業者等への支援をすることで、商業の活性化を図る。</li> <li>○交流と憩いの場の維持管理・創出</li> <li>・安全かつ安心な利用環境を維持しながら、引き続き利用者のニーズに合わせた公園等の整備を進めるとともに、中心市街地内の新たな交流と憩いの場を創出し、地域コミュニティの活性化につなげる。</li> <li>○観光客の持続的な誘客</li> <li>・奥の細道むすびの地や大垣まつりなどの歴史・文化等の資源を生かし、引き続き効果的なPRを実施し、観光客の持続的な誘客を図る。</li> </ul>